

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【公開番号】特開2007-67485(P2007-67485A)
【公開日】平成19年3月15日(2007.3.15)
【年通号数】公開・登録公報2007-010
【出願番号】特願2005-247278(P2005-247278)
【国際特許分類】

H 0 3 H 9/17 (2006.01)

【F I】

H 0 3 H 9/17 F

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月29日(2008.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の電極と、

前記第 1 の電極上に第 1 の音響インピーダンスを有する圧電体層と、

前記第 1 の音響インピーダンスより大きい第 2 の音響インピーダンスを有するダイヤモンド層と、

前記圧電体層とダイヤモンド層の間に配置され、前記第 1 の音響インピーダンスより大きく且つ前記第 2 の音響インピーダンスより小さい音響インピーダンスを有する音響緩和層と、

前記ダイヤモンド層上に第 2 の電極と、が積層されていることを特徴とする圧電薄膜振動子。

【請求項 2】

複数の前記音響緩和層が積層されていることを特徴とする請求項 1 に記載の圧電薄膜振動子。

【請求項 3】

前記音響緩和層は前記圧電体層に隣接するとともに前記圧電体層と前記音響緩和層が格子整合していることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の圧電薄膜振動子。

【請求項 4】

前記第 2 の電極は、導電性の付与された前記ダイヤモンド層で構成されることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の圧電薄膜振動子。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の圧電薄膜振動子を備えることを特徴とするフィルタ。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の圧電薄膜振動子を備えることを特徴とする送受信装置。